



HOSHINO
DREAMS PROJECT



新村 穰

Minori Shinmura
(23歳)

自転車競技トラックレース

2017年5月～6月度活動報告



～ アジアの頂きへの挑戦 ～

2017年5～6月度活動報告 新村穰



Introduction

中学生から競技を始め、高校・大学と進み日本代表の強化選手まで成長した新村選手。メインとなる種目は、「マディソン」と「チームパシュート」からなる。

「マディソン」とは、二人一組(時折三人一組)のチーム複数によって競われるが、常に各チームのうちの誰か一人の選手だけがレースに参加しているのが特徴である。定期的に各チームは、「タッグ」によって選手交代を行う。この「タッグ」は走行を終える選手がこれから走行を開始する選手と手をつないで手を引くことで、走行を終える選手が持つ運動量をできるだけ次の選手に引き継ぐことで行われる。次の選手の腰を押しても良い。走行を終えた選手はその後バンクの最上部に移動して次の出番までの間体力を回復させる。

一方で「チームパシュート」は、1チームの構成は3人か4人。距離は一般的に男子・女子ともに4kmで、規定の距離を先に完走するか、または相手を追い抜いた側が勝者となる。3人目の自転車の後輪がゴールした時点のタイムが記録される。

昨シーズンの成績に関しては、「マディソン」では、国内2連覇、アジアは第3位。「チームパシュート」では、ワールドカップ11位を達成。日本を代表する選手です。

目標は、2020年の東京オリンピックに出場し、メダル獲得です。

そのためには、まずアジアでトップになることが不可欠です。

皆さん、応援の程、宜しくお願い致します。



自転車競技について

自転車競技は、国際自転車競技連合(UCI)が管理する世界選手権種目の大きな括りとして、8種目があるが、細分化により種目の中においてもUCIが管理していない競技がある。新村さんが取り組んでいるのは、トラックレースであり、角丸長方形で直線部に緩く曲線部に険しく内方へ横断勾配が付いた専用走路で走力を競う競技である。

競技種目は非常に多く、1000m以内の距離をマッチレースで着順決勝する方式から、数万メートルを多人数で同時に走り規定周回毎の発着線通過順で獲得する得点合計で決勝する方式まで多岐に渡る。また、異なる種目を複合し合計成績で決勝する方式もある。

使用できる自転車は後輪が固定ギアに限定され、制動装置及び変速機構は禁止されている。

Schedule

●2017年スケジュール

5月21日	第6回JBCF 堺クリテリウム
5月26日～28日	全日本選手権自転車競技大会ートラック
5月28日	自転車月間 第6回 JBCF 大井埠頭ロードレース
6月2日～5日	ドイツ遠征
6月23日～25日	全日本選手権自転車競技大会ーロード・タイムトライアル、ロードレース
7月7日～9日	ジャパントラックカップ I、ジャパントラックカップ II
7月15日～16日	JICFインターナショナルトラックカップ
7月22日～23日	関西トラックフェスタ
7月未定	茨城県自転車競技選手権大会
8月未定	JBCF 東日本トラック 湾岸クリテリウム
8月19日～20日	シマノ鈴鹿国際ロード
8月24日～26日	全国都道府県対抗自転車競技大会
9月10日	JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ
10月1日～5日	国民体育大会自転車競技
10月未定	ジャパン・カップ・サイクルロードレース 2016-2017 UCIトラックワールドカップ
10月28日～29日	第3回 JBCF 南魚沼ロード&タイムトライアル、ロードレース
11月4日	第2回 JBCF 幕張新都心クリテリウム
11月18日～19日	全日本選手権自転車競技大会ーオムニアム／マスターズ
12月未定	行田クリテリウム 全日本選手権自転車競技大会ーシクロクロス 豪州遠征

Report ~May~

【5月度 イベント】

- TORIPI茨城県トラック自転車競技大会
- 第86回全日本自転車競技選手権大会 トラック・レース
- 国立スポーツ科学センター体力測定
- 茨城県議会国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会

宮城県・大和町総合運動公園で行われた「第86回全日本自転車競技選手権大会 トラック・レース」へ参加してまいりました。今大会は、トラックレース各種目の日本一を決める最も大きなレースであり、国内からトップ選手が多く集まるなか、昨年度から続いているマディソン種目の連覇を最大目標に、エントリーできる上限の4種目に臨みました。

大会期間中は連日冷たい雨の中で競技が行われ、コンディショニングが整わずトレーニングの成果をうまく発揮することができなかった結果、他の選手に遅れを取ってしまい、優勝はおろか表彰台にも届かずレースを終える事になりました。



5月13日～14日

第86回全日本自転車競技選手権大会

トラック・レース

個人パシュート

6位

**ポイントレース
10km**

6位

マディソン決勝

8位

レースの中で掴めた手応えと、今後の改善点をより明確にするため、レース後に国立スポーツ科学センターを利用し、血中乳酸カーブデータの測定などを行いました。データを参考に、体力の向上や不足点の修正、自分の長所を活かしたレース運びができる戦術を考え、さらに上のレベルで走ることのできるよう7月までのトレーニングメニューを見直しました。

まだまだ、冬のシーズンに向けての体力づくりの期間は続きますが、怪我や故障を含めた体調管理には細心の注意を払って練習に取り組んでいきたいと思っております。

応援のほどよろしく願いいたします。



●今月のメディア・WEB・ニュース情報

・TORIPI茨城県トラック自転車競技大会 リザルト

<https://ibaraki-cf.jimdo.com/app/download/6971900454/リザルト.pdf?t=1494455474>

・第86回全日本自転車競技選手権大会 トラック・レース リザルト

<http://nationalchampionships-track.com/wp-content/plugins/download-monitor/download.php?id=324>

・第86回全日本自転車競技選手権大会 トラック・レース フォトレポート掲載

<http://d.hatena.ne.jp/cyclistfan/20170527/pl>

Report ~June~

【6月度 イベント】

- ・ TORIPI茨城県民総合体育大会トラック自転車競技記録会
- ・ 第21回全日本選手権個人タイム・トライアル・ロード・レース大会
- ・ 第86回全日本自転車競技選手権大会 ロード・レース
- ・ Japan Track Cup I/II

6/23-6/25まで全日本選手権タイムトライアル・ロードレースに参加するため青森県階上町に行っていました。ロードレースの日本一を決める大会では、長距離のアップダウンが繰り返されるコースに苦しみ、途中棄権となりましたが、個人タイムトライアルでは昨年より順位を一つ上げ16位でゴールすることができました。こちらは専門種目ではありませんが、課題の克服のためにも積極的に大会に参加をし、どんなレースでも対応できる体力を身につけられるようにするため、引き続き取り組んでまいります。